後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2	学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	2	芸術・文化の普及・振興		
施策の方向性	●様々な文化に触れるためのイベント等を開催するとともに、文化団体相互の連携を推進し、発表機会の提供や活動の支援を通じて、芸術・文化活動を推進します。 ●文化財の保存と活用を推進するとともに、府中町の歴史・文化・自然について学習する機会の提供と支援を行います。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	芸術文化イベント参加者及び活動者数	人	目標値		478	486	494	502	510
			実績値	428	349	365	434	355	336
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標は未達成でした。 活動者数（あきふちゅう文化協会会員数）が減少したほか、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント参加者数が制限されました。
R4	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、各種活動を実施しました。 あきふちゅう文化協会活動者（280人）及びふるさと再発見講座への参加者（85人）は令和3年度に比べ増加しましたが、目標値を下回りました。
R5	あきふちゅう文化協会会員数の伸び悩みが、目標値未達成の主たる要因となっています。
R6	会員の高齢化によるあきふちゅう文化協会会員数の減少が、目標値未達成の主たる要因となっています。
R7	

・評価及び対応方針

R3	活動者数増員のため、あきふちゅう文化協会の活動を支援していきます。また、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業が実施できるよう工夫していきます。
R4	あきふちゅう文化協会の活動者数を増やすため、活動を支援していきます。 また、ふるさと再発見講座への参加者を増やすため、講座内容を充実させます。
R5	目標値が未達成であることを理由に、芸術・文化・歴史活動の推進が停滞していることはありませんが、あきふちゅう文化協会会員数については、協会の活動の活性化につながるような増加策を講じる必要があるものと考えます。
R6	幅広い世代の活動者数を増やすため、あきふちゅう文化協会の自立・育成を支援していきます。
R7	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	下岡田官衙遺跡保存・整備事業	3,180	6,957	8,012	153,960	42,883	214,992
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		3,180	6,957	8,012	153,960	42,883	214,992

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	○

事務事業の名称	下岡田官衙遺跡保存・整備事業	事業番号	222101
担当部署名	教育委員会　　社会教育課		
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	2 芸術・文化の普及・振興		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 「国史跡　下岡田官衙遺跡の歴史的価値」などを題材とした、「ふるさと再発見講座」を5回開催し、延べ73人が受講しました。 ○ ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト（歴史部門）で、小学生7名に下岡田官衙遺跡についての講座を実施しました。 ○ 国史跡指定記念講演「下岡田官衙遺跡」及びシンポジウムは新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
R4	○ 「国史跡　下岡田官衙遺跡、今蘇る千三百年前のハイウェー安芸駅家」などを題材とした、「ふるさと再発見講座」を5回開催し、延べ85人が受講しました。 ○ 文化庁職員の講演及び元下岡田遺跡発掘調査委員をパネリストとした記念シンポジウムを行いました。 ○ 保存活用計画の策定に着手し、令和4年度は、基本理念と方針の検討を行いました。
R5	○ 本史跡を確実に保存し、次世代へ継承し、適切な保存と活用を図るための基本方針として、「史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画」を策定しました。 ○ 「あなたも『知の扉』を開けてみませんか」というテーマにより、幅広く下岡田官衙遺跡の学習を行う「ふるさと再発見講座」を5回開催し、延べ40人が受講しました。また、「ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業」の「歴史」部門を、本事業の位置付けとして実施しました。 ○ 「古代山陽道の謎を探る　ー史跡下岡田官衙遺跡は「安芸駅家」跡かー」というテーマにより、「国史跡下岡田官衙遺跡講演会・歴史フォーラム」を開催し、90人が参加しました。
R6	○ 本史跡を確実に保存し、次世代へ継承するため、史跡指定地の一部を公有化しました。 ○ 府中町内の文化財と下岡田官衙遺跡の学習を行う「ふるさと再発見講座」を5回開催しました。（参加人数121人）また、「ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業」の「歴史」部門を、本事業の位置付けとして4回開催しました。（参加人数36人） ○ 「史跡下岡田官衙遺跡はなにかー駅家の成立・機能・出土品から遺跡を考える」というテーマにより、講演会を開催しました。（参加人数33人）
R7	○ 本史跡を確実に保存し、次世代へ継承するため、史跡指定地の一部を公有化しました。 ○ 府中町内の文化財と下岡田官衙遺跡の学習を行う「ふるさと再発見講座」を4回開催しました。（参加人数120人）また、「ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業」の「歴史」部門を、本事業の位置付けとして4回開催しました。（参加人数57人） ○ 「駅路は続くよどこまでもー安芸駅家？でひと休み」というテーマにより、下岡田官衙遺跡史跡指定5周年記念講演会を開催しました。（参加人数101人）

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	下岡田官衙遺跡関連普及啓発講座回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	5	5	5	5	5
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進が目的のため、普及啓発講座回数を指標としました。							

４．コスト情報(決算)

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	3,180	0	0	0	130	3,050
R4	6,957	1,402	0	0	150	5,405
R5	8,012	2,270	0	0	785	4,957
R6	153,960	122,915	0	27,600	230	3,215
R7	42,883	28,644	0	6,342	553	7,344
合計	214,992	155,231	0	33,942	1,848	23,971

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進のため、普及啓発講座の実施については目標を達成しました。
R4	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進のため、普及啓発講座の実施については目標を達成しました。講座内容について、受講者の新たな発見につながるよう、講師とともに検討していく必要があります。
R5	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進のため、普及啓発講座を開催し、目標を達成しました。
R6	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進のため、普及啓発講座を開催し、目標を達成しました。
R7	下岡田官衙遺跡の普及啓発の促進のため、普及啓発講座を開催し、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	下岡田官衙遺跡に関する講座や専門家を招いた講演会を開催し、遺跡について町民が理解を深めることができるよう事業を実施します。
R4	引き続き下岡田官衙遺跡に関する講座や専門家を招いた講演会を開催し、遺跡について町民が理解を深めることができるよう事業を実施します。近年に実施した講座内容を確認し、令和5年度は視点を変えたテーマにするなど、講座内容の検討を講師と進めます。
R5	下岡田官衙遺跡に関する講座や専門家を招いた講演会を開催し、遺跡について町民が理解を深めることができるよう事業を実施します。
R6	下岡田官衙遺跡に関する講座や専門家を招いた講演会を開催し、遺跡について町民が理解を深めることができるよう事業を実施します。
R7	下岡田官衙遺跡に関する講座や専門家を招いた講演会を開催し、遺跡について町民が理解を深めることができるよう事業を実施します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	事業目標は達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国史跡指定記念シンポジウムは中止となりましたが、感染対策を十分に行い、普及啓発講座は開催できました。
R4	事業目標は達成しました。 下岡田官衙遺跡の保存活用計画に着手しました。また、下岡田官衙遺跡を普及啓発するため、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、記念シンポジウムを開催するとともに、ふるさと再発見講座を開催しました。
R5	計画的・効果的な事業執行により、目標値を達成しました。
R6	計画的・効果的な事業執行により、目標値を達成しました。
R7	計画的・効果的な事業執行により、目標値を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	今後も、下岡田官衙遺跡を町内外に広く普及啓発するため、令和4年度に改めて記念シンポジウムや普及啓発講座の開催など実施していきます。
R4	今後も、下岡田官衙遺跡を町内外に広く普及啓発するため、趣向を凝らしながら継続してシンポジウムや普及啓発講座などを実施します。
R5	本事業は、芸術・文化の普及・振興のみならず、他の地域にはない、府中町でないと味わうことができない歴史を提供できる事業であり、まちの魅力や活力の向上に資する効果もあると考えています。
R6	本事業は、芸術・文化の普及・振興のみならず、他の地域にはない、府中町でないと味わうことができない歴史を提供できる事業であり、まちの魅力や活力の向上に資する効果もあると考えています。
R7	本事業は、芸術・文化の普及・振興のみならず、他の地域にはない、府中町でないと味わうことができない歴史を提供できる事業であり、まちの魅力や活力の向上に資する効果もあると考えています。